

## リブロ九州エリア売上ランキング (2019年1月-2月)

### 『おしりたんてい ププッゆきやまのしろいか』

1



ポプラ社 トロル 対象年齢：3歳から  
ゆきやまのスキー場からいらいがとどいた。  
なんとゆきやまにでるかいぶつをみつけてほしいというの  
だ。はたして、かいぶつは…

2



『おしっこちょっぴりもれたろう』  
PHP研究所 ヨシタケシンスケ 対象年齢：3歳から  
ぼくは、パンツにおしっこがちょっぴりもれちゃうから、  
いつもお母さんに怒られる。  
でも、いいじゃないか、ちょっぴりなんだから。

3



『かいけつゾロリ ロボット大さくせん』  
ポプラ社 原ゆたか 対象年齢：小学校低学年から  
イシシとケンカをしたゾロリとノシシ。その時、  
宇宙で大事件のニュースが！ゾロリ達はイシシと仲なお  
し大事件を解決できるのか。

4



『しろくまちゃんのほっとけーき』  
こぐま社 若山憲 対象年齢：0歳～3歳ころ  
しろくまちゃんがホットケーキ作る。卵を割って、牛乳を  
入れて…。焼きあがったらこぐまちゃんを呼んで、ふたり  
で「おいしいね」。見開きいっぱいに描かれたホットケ  
ーキの焼ける場面は、子どもたちに大人気。

5



『わけあって絶滅しました』  
ダイヤモンド社 今泉忠明：監修 丸山貴史：著  
絶滅した生き物たちが、自ら絶滅理由を語る！  
いちばん楽しい絶滅の本。やさしすぎたステラーカイギョ  
ウ…ああ、地球ってせちがらい。

※在庫がない場合はお取り寄せいたします。お気軽にお問合せください。

### 読み聞かせスケジュール

◎リブロ福岡天神店

毎週土曜日 14時～  
TEL: 092-717-5180

◎リブロ大分わさだ店

毎月第2・4土曜日 14時30分～  
TEL: 097-588-8859

◎リブロ大分トキハ店

毎週土曜日 15時～  
TEL: 097-573-3033

◎リブロ別府店

毎月第3土曜日 15時～  
TEL: 0977-73-8090

◎リブルリウボウBC店

不定期  
TEL: 098-867-1725

※都合により  
日時が変更になることが  
ございます。

●リブルプラス公式サイト●  
<https://libroplus.co.jp>  
リブル九州版公式Twitter  
@libro\_9

九州・  
沖縄版  
Vol.24

LIBRO

わ  
む  
む  
ば  
む  
通  
信

## リブロ児童書担当が選ぶ『桜』おすすめ絵本

### 『さくら研究ノート』

近田 文弘：著 大野 八生：絵  
偕成社 1,600円＋税



同じ木に咲く桜の花でも 花びらの重なり方が少しずつ違ってご存知ですか？

一見“夏休みの自由研究”のようなこの絵本が ソメイヨシノのことを詳しく教えてくれます！今年のお花見を楽しみに、いま読んでおきたい本です。

大分トキハ店 児童書担当：藤田

### 『さくら』

長谷川 摂子：作 矢間 芳子：絵  
福音館書店 900円＋税



春に美しい花を咲かせる桜の木。花の咲くまでの一年を廻る季節で丁寧に教えてくれます。

大分わさだ店 児童書担当：若林

### 『くものすおやぶん とりものちょう』

秋山 あゆ子：作 福音館書店 900円＋税



はるらんまんのむしのまち、「ありがたや」のおかしをちょうだいすると、ぬすっとからのよこくじょう。くものすおやぶんとびよんぎちは、ぬすっとたちからおかしを守ることができるのか？

ぬすっとの姿を隠す怪しくも美しいさくらが印象的。

そしてさくらの下のおやぶん、しぶくてかっこいい！

福岡天神店 児童書担当：金子

### 『おひさまえんのさくらのき』

あまん きみこ：作 石井 勉：絵  
あかね書房 1,200円＋税



あんなに楽しみにしていた幼稚園。だけど『行きたくない』と言い出した

たまこちゃん。おばあちゃんが昔、やっぱり泣いていた誰かさんの話をしてあげます。

桜の木から力をもらおうという素敵な話です。

別府店 児童書担当：牛島

### 『あしたも あそぼうね』

あまん きみこ：作 いもと ようこ：絵  
金の星社 1,300円＋税



びよんことくうたが【さくらひろば】で出会ったさくらこ。

「あしたも、あそぼうね」…桜の花とともに起こる不思議。ふんわりふわんふわん、やさしい気持ちになれる物語です。

リウボウBC店 児童書担当：名嘉

### 『うさぎのくれたバレエシューズ』

安房 直子：作 南塚 直子：絵  
小峰書店 1,300円＋税



バレエが大好きなのに、なかなか上手になれない女の子。七夕でもお誕生日でもかなえてほしい願いはたったひとつ。

「どうか、おどりがじょうずになりませうように」

そんな女の子の元に桜色のバレエシューズが届いて…。

不思議で繊細ですっと心に残るお話です。

福岡天神店 入江